

調査区の西側からは、縄文時代につくられたと考えられるトンネル状遺構が検出されました。トンネルは、南北約 22m 以上、東西約 7m 以上の範囲に存在することが明らかで、明確な用途は分かっていませんが、これまでの調査研究により、アナグマ猟に関係する可能性が指摘されています。今回の調査において、トンネルの中からは縄文時代前期の土器が出土していますので、この遺構の時期はほぼこの頃と推測されます。縄文時代後期になると、竪穴建物跡が 3 棟まとまって見つかり、「ムラ」が営まれたと考えられます。建物からは土器や石器などが出土したほか、周辺からは、サルボオを主体とする貝土坑 1 基も検出されました。